

(様式第4号)

上田西部地域協議会 会議概要

1 審議会名	上田西部地域協議会
2 日時	令和元年9月27日 午後7時00分から8時40分まで
3 会場	西部公民館 第5学習室
4 出席者	五十嵐委員、石塚委員、小市委員、渋谷委員、菅沼委員、竹内健三委員、竹内充委員、田畑冴子委員、田畑裕康委員、宮崎郁男委員、宮島委員、向山委員
5 市側出席者	【事務局】滝沢西部地域振興政策幹、宮澤市民参加・協働推進課長、内藤地域内分権推進担当係長、片山地域内分権推進担当主査
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和元年10月4日

協議事項等

次第

1 開会

2 会長あいさつ

3 会議事項

(1) 地域協議会の見直し(案)について

・事務局より資料に基づき説明

・以下、質疑応答

(委員) 上田地域協議会として6つの地域協議会が1つになる理由は人員不足が主な理由と考えてよいか。

(事務局) 地域協議会の開催回数についても理由の1つで、上田地域では中央を除いた5つの協議会の開催回数は減っており、わがまちの審査を除く、諮問・意見聴取のみでの開催ではさらに減ってしまう。調査研究を行っている中央・丸子・真田・武石地域は月1回ペースで開催しているが、上田地域の中央以外の5地域に関しては調査研究を行っていない。地域協議会を廃止してもいいのではないかという意見もあるが、地域協議会は条例に定められた市の附属機関であり、固有の任務があるため廃止は考えていない。また、上田地域は自治連による行政懇談会があり、市長と意見交換する機会があるのに対して、丸子・真田・武石地域はそのような機会がなく、地域協議会の役割は非常に重要な位置を占めている。

(委員) 人員は1地域3名の18名で、残りは公募か。

(事務局) そのような考え方である。それぞれの地域で団体からの推薦があるので、福祉や教育など平均的に選出させていただいて、各地域3名で公募2名程の配置を考えている。女性の比率も考えている。

(委員) 設置単位は今のままが良いと思うが、人数は20名以下が良いと思う。自治基本条例の策定に関わり、地域協議会が出来た時から見てきて感じることだが、地域協議会に関しては市の附属機関として重要な位置を占めていて、審議会と同じ機能を持っている。審議会の意見は市長に尊重していただける。

設置単位については、それぞれの地域に分けてあるということが重要なことで、一つにしたり、右岸左岸にしたとしても、今まで細かく意見を聴けていたものが、大雑把になるのではないかと思う。細かな意見を聴いていくためにも、地域協議会と住民自治組織の両輪があるから意味があると思っている。

任務にもあるが、総合計画は非常に重要なことで上田市のこれからの進め方を決める。10年の計画に我々が意見するとなると、地域協議会に入っているからこそ地域の細かな実情の意見を出すことが出来る。それが反映されにくくなってしまい、一つにしてしまっても西部と川西や塩田では人口や文化なども違う。総合計画をつくるにあたっては別々にしたほうが良いかと思う。

一つにするにしても、実情に合わせて人数を変えるなどして地域協議会は残したほうが良いと思う。

(事務局) 地域協議会の役割の中で、諮問と意見聴取といった市が協議会にお願いするものが主となっているが、本来は、地域協議会が地域の課題等について、掘り起こし、調査研究をしていただいて、市に提言していただくことが本来の責務であると考えている。上田地域では調査研究がされていないのが実情である。

(委員) 以前は、上田西部地域協議会においても調査研究を行っていて、課題をまとめ市へ提言していた。住民自治組織が設立された頃から、目的が重複するとして調査研究を行わなくなった。住民自治組織で話し合っていることを、わざわざ地域協議会として掘り起こして、調査研究を行うことができるのか。

(事務局) 一番の問題は住民自治組織と地域協議会、自治会、地区連の役割が分からなくなっていること。ただ、現状とすると住民自治組織は、設立されていない地域もあるうえ、最も早く設立したところでも4年目であり、まだ住民自治組織が成熟していない。地域協議会の役割を住民自治組織に移行できるかというところまではいっていない。行政としては、位置づけを明確化していきたい。

(委員) 120人から20人でということで、良いとは思いますが、市長に意見を言える機関は残さなければならぬと感じるため、意思を集約できる人数を確保すべきだと思う。地域には地域の問題があると思うので、実情に合わせた人数が良いと思う。

(事務局) 委員数は現行どおりと考えている為、20人以内とさせていただいた。

(会長) 今日の会議で結論は出さなければいけないのか。

(事務局) 結論は出ないと思いますので、皆さんの意見を聞けるようにアンケートを記入いただき、集計したものを基に次回話し合い、結論を出していただきたい。

(2) わがまち魅力アップ応援事業選考審査 (一部非公開)

ア 令和元年度わがまち魅力アップ応援事業第3回募集(募集期間8/26~9/6)を実施し、上田西部地域協議会管内において申請のあった新規事業1件について審査を行った。

イ 事務局から審査方法及び申請事業の概要、関係課からの意見を委員へお伝えした。

ウ 申請団体が入場し、10分間のプレゼンテーションを実施。その後、質疑応答(30分程度)

エ 申請団体退場後に採否の協議を行った結果、申請事業について1件採択とすることとした。

【採択事業】

団体名：花いっぱい会

事業名：心がやすらぐ道づくり

(3)その他

次回の日程：10月21日（月） 19:00 から

4 閉会